

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館

TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト

TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040

●URL <https://www.teijin.co.jp>

2025年1月29日

脱炭素社会の実現に向けたファイナンス手法 「トランジション・リンク・ローン」による資金調達を実行

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：内川 哲茂）は、カーボンニュートラル実現に向けて、長期的な戦略に則った温室効果ガス削減の取り組みを強化すべく、着実な脱炭素社会に向けた移行（トランジション）を進めるためのファイナンス手法「トランジション・ファイナンスフレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を策定し、当社初となる「トランジション・リンク・ローン（*1）」（以下、「本ローン」）による資金調達を実行します。なお、本フレームワークは経済産業省による2024年度トランジション・ファイナンス補助金事業（*2）として採択されています。

（*1）トランジション・リンク・ローン：脱炭素社会の実現に向けて、戦略に沿った目標設定を行い、達成状況に応じて財務的・構造的に変化する資金調達手法

（*2）トランジション・ファイナンス補助金事業：

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/transition_finance.html

1. 背景経緯

（1）帝人グループは、社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題を経営課題と認識し、自社にとっての機会とリスクを整理し、5つのマテリアリティ（①気候変動の緩和と適応、②サーキュラーエコノミーの実現、③人と地域社会の安心・安全の確保、④人々の健康で快適な暮らしの実現、⑤持続可能な経営基盤のさらなる強化）を特定して取り組んでいます。

（2）この度、「①気候変動の緩和と適応」や「②サーキュラーエコノミーの実現」といった課題解決の取り組みを推進させるため、本フレームワークを策定し、トランジション・リンク・ローンによる資金調達を決定しました。当社グループは現中期経営計画中のキャピタルアロケーションのうち、サステナビリティへの積極投資などを含めた成長投資に総額1,000億円～1,100億円を配分することとしています。

2. 本ローンの概要

契約締結日	2025年1月29日
アレンジャー兼エージェント	三井住友信託銀行(株)
貸付人	国内金融機関
第三者評価	(株)格付投資情報センター
KPI	① Scope1+2：当社グループCO2排出量の削減率 ② Scope3：サプライチェーンCO2排出量の削減率

SPT	<p>① 自社グループ CO2 排出量について、2030 年度に 30%削減 (2018 年度比)</p> <p>② サプライチェーン CO2 排出量について、2030 年度に 15%削減 (2018 年度比)</p>
-----	---

3. 本フレームワークの適合性について

当社の本フレームワークは、以下の原則やガイドラインなどに適合していることについて、格付投資情報センター (R&I) から第三者評価を取得しています。また、発行支援を行うストラクチャリング・エージェント (*3) として、野村証券株式会社を選定しています。

クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック (2023、ICMA)
クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針 (2021、金融庁、経済産業省、環境省)
グリーンボンド原則 (2021、ICMA)
グリーンボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン (2024、環境省)
グリーンローン原則 (2023、LMA 等)
グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン (2024、環境省)
サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2024 (ICMA)
サステナビリティ・リンク・ローン原則 2023 (APLMA、LMA、LSTA)

(*3) ストラクチャリング・エージェント：フレームワークの策定およびセカンドパーティ・オピニオン等外部の第三者評価の取得に関する助言等を通じて、トランジション・ファイナンス等の発行支援を行う者

4. 今後の展開

当社グループの CO2 排出量については、2030 年度までに 2018 年度対比で 30%削減するという目標を設定し、2050 年度にネット・ゼロの実現を目指しています。今後、石炭火力による自家発電設備の全廃・都市ガスを燃料とする発電・熱供給システムの転換による脱石炭火力を図るとともに、省エネルギー・再生可能エネルギー化の推進やプロセスイノベーションなどの技術革新への取り組みを強化します。帝人グループは、地球環境やそこに住む人々、あらゆる生命が、健やかで明るい未来を歩む「Healthy Planet」の実現を目指して、地球環境と社会に与える負荷を最小限に抑え、社会の課題解決に貢献する革新的なソリューションを提供していきます。

添付資料 1：帝人/トランジション・ファイナンスフレームワーク

<https://www.teijin.co.jp/csr/pdf/Framework.pdf>

添付資料 2：格付投資情報センター (R&I) によるトランジション・ファイナンスワークフレーム評価結果

https://www.r-i.co.jp/news_release_gf/2025/01/news_release_gf_20250120_jpn.pdf

以上

【報道関係のお問合せ先】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055